



11/26

MILK ● JAPAN in ひろしま

牛乳をもっと飲んで!!
乳製品をもっと食べて!!

広島イオンモール



酪農は、広島市内のショッピングモール「イオンモール広島祇園」を会場に、「MILK ● JAPAN in ひろしま」を開催した。

MILK ● JAPAN運動は、全国で三年間展開されるもので、中国地域内では各県持ち回りの開催となっており、昨年の岡山会場のキックオフ大会に続いて今回で二年目。普及対象は、子どもをもつ若年層の母親で、この世代の牛乳の価値観を高め、将来の牛乳消費を支える子供達に対して、母親から牛乳の大切さを伝えられるようお願い「草の根運動」として始まったものである。

当日は天候にも恵まれ、イオンモールの集客率も良く、多くの家族連れが訪れ、一階のエレベータ付近二カ所と三階のホールを使って行われた各ブースでは、共催する酪農メンバーズクラブ(以下「メンバーズ」)、ひろらく女性グループ連絡協議会以下「女性G」、中国生乳販売農業協同組合連合会、広島県牛乳普及協会の職員らも参加して盛大に開催した。

酪農かあちゃんの牛乳料理実演が大人気!

女性Gは、「酪農かあちゃんのおいしいレシピ集」PRコーナーを設け、牛乳料理の実演を行った。女性Gの市川啓子委員・美智子さん親子、温泉川みどり委員、溝上智美さんは「カッタージチーズづくり」、それから生まれたホエーを使った「ホエーピラフ」をステージ上で実演し紹介した。会場ではその試食が行われ、とても好評で、消費者の牛乳料理への関心が高いことが伺えた。



(市川啓子委員(女性G:写真右)に駆け寄って質問する来場者)

牛乳・乳製品消費拡大運動



(牛乳をPRするミルク〇×クイズに集まる子供達)



(模擬乳搾りゲームをやさしくサポートする宮地委員長)



(山陽乳業(株)スタッフによるペットボトルを使った「広島県産生乳100%の簡単バター作り体験」の様子)



(ミルクバーのカウンタに座る子供達にやさしく語りかける吉川さん)



(先着100名を対象とした「骨密度測定」)

酪農家がバーテンダー！
子供とのふれあい

メンバーズから、宮地健司委員長と吉川栄樹委員長がバーテンダーと
なって、「酪農家のKIDS MILK
BAR」を開店した。

子供達にコーヒーやフルーツを混ぜたミルクドリンクをふるまい、そのふれあいの中で、牛乳の美味しさと良さを伝えていた。とりわけ、本格的なカクテルバーをイメージしたブースはお母さん方を魅了し、バーでミルクを飲む我が子を写真に納め、午後からは行列が途絶えない盛況ぶりであった。

山延親子の軽快なトークショー

女性Gの山延眞智子委員長・伊久江さん親子による子育てと牛乳をテーマにしたトークショーと、県内酪農家のショップのPRのため、(有)トムミルクファームの生キャラメルとプリン、ミルクファームHARUのアイスクリームによる自慢のスイーツ試食会を行い、大変好評であった。

トークショーでは、山延さん親子とRCCの和佐アナウンサーの絶妙な会話の中で、『牛乳は太るの?』との素朴な疑問や酪農家の親子の絆の強さ、酪農に対する熱い想いなどを伝えられた。

今回のイベントでは、家族で来場された多くの人とのふれあいと会話の中で、牛乳・乳製品の普及活動を行うことが出来た。今後、これらの取り組みがきっかけとなり、子供を持つ若年層の母親や、その子供たちの酪農への関心が高まり、また、牛乳・乳製品を好きになったという人が増えてくれればと願う。